

平成 23 年 (2011 年) 10 月 28 日 発行

淡海エコフオスター通信

～美しいまちづくりを目指して～

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

エコフオスター紹介〈大津管内〉

鳩の会 (におのかい)

活動場所 県道仰木堅田線 (レークピア信号～東へ 700m) および周辺道路

10月19日に大津市仰木の里の「鳩の会」を訪れました。

「鳩の会」は、平成11年10月に結成され、淡海エコフオスター制度ができた平成12年に知事と合意書を取り交わしており、制度設立当初からのボランティア団体です。

当初は、メンバーである岳川義則さんが、一人で8年間ごみ拾いをしておられましたが、地域の老人クラブ活動の一環として取り組もうということで、エコフオスターに加入されました。



「鳩の会」の名称は、初代会長さんが命名されたそうで、手の届く範囲で奉仕しようという気持ちと仲むつまじくという思いを、小さくとも仲の良い、琵琶湖の代表的な鳥である、かいつぶり (鳩) にイメージされたそうです。

現在の構成員は39人で、毎週水曜日の8時30分 (10月からは9時) から約1時間清掃活動を実施しておられます。

ごみは、車からのポイ捨てが多く、煙草の吸い殻や菓子袋が見受けられました。

現在の会長である山之内 勇さんは、「長く続くのは、仲がよいから。活動を続けることで、安否確認もできる。」とおっしゃいます。

活動後は、缶コーヒーを飲みながら歓談しておられ、皆さん、毎週水曜日が楽しみだといっておられます。



メンバーの一人は、「道路やガスが整備された隣接する団地に住みたいと思い、申し込んでいたが、バブル期であり、競争率が20～30倍で抽選に何回も外れた。競争のないこちらに住んだが、今は、こちらで良かったと思っている。こんなに仲の良い人たちに出会えたから。」

文明は進化していますが、人間関係の希薄な現代社会にあって、何よりも大事なものは地域のコミュニティだということですね。

最高齢の女性は85歳ですが、皆さん元気に活動しておられます。本当に心温まる皆様にお会いできました。

これからも、お元気でご活躍ください。

(琵琶湖環境部循環社会推進課)

エコフオスター紹介〈東近江管内〉

藤野商事株式会社

活動場所 県道栗見八日市線 (築瀬交差点～築瀬バス停、築瀬北交差点～近江鉄道踏切)

藤野商事株式会社は、『地球から“ありがとう”がもらえるような会社』づくりを初心に、平成19年3月からエコフオスター活動をされています。



活動当初は、清掃に抵抗感を持つ社員もおられ

たそうですが、4年間の継続が今では社員のつながりに大きな役目を果たし、遠方営業所の社員も快く活動に参加されているそうです。そして現在では、協定締結の活動範囲以外にも社員自ら活動を広げ、大同川歩道のごみ拾い、河川の掃除、道路緑地帯の草刈りなども行い、地域の環境美化に熱心に取り組まれておられます。

また清掃活動を行っている時、通行人より「ご苦労様、おはようございます」とさわやかな声を頂くことがあり、今後への大きな励みになるとのことです。毎回活動後には、エコフオスター活動の内容などを記事にした、エコロジ通信「ありがとう」を作成し全社員に配布され、好評を得ているそうです。



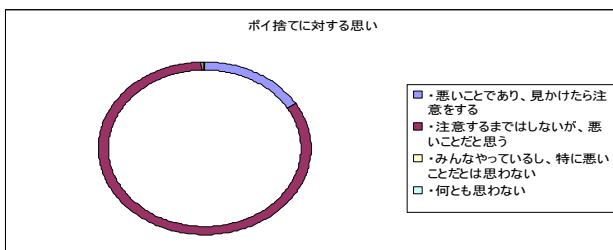
取材の最後には、「こういった活動は『売り手よし 買い手によし、世間によし』という『三方よし』の社内精神にも一役買っており、今後も全社員が力を合わせて続けていきたい」と力強く語って頂きました。

(東近江環境・総合事務所環境課)

平成23年度上半期 ポイ捨てアンケート

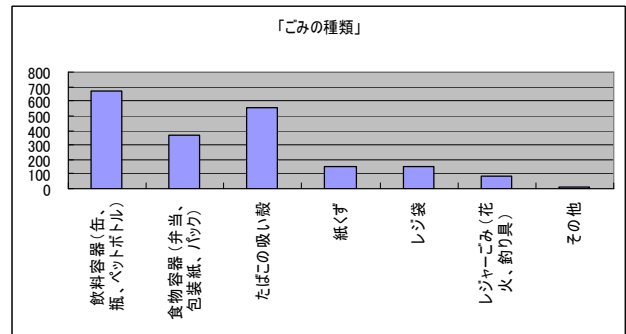
滋賀県では、散在性ごみ対策の一環として、県民の意識の変化を長期的に把握し、今後の対策の参考とするため、また、監視員が直接、県民と話すことで、啓発の機会とするため、アンケート調査を実施しています。今年6月から9月に実施しました調査結果は以下のとおりでした。

・年齢層は、各層が均一化できるように心がけています。ポイ捨てに対しては、悪いことと意識する人が90%で、何とも思わないと答えた人

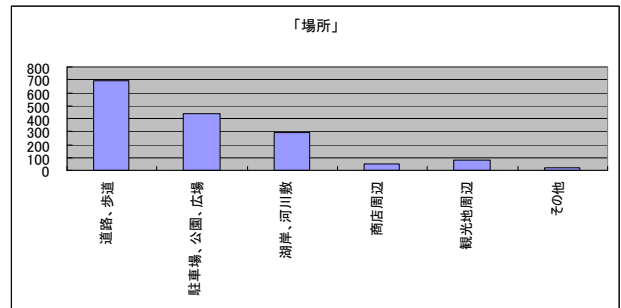


は10%でした。

- ・ごみの量は、以前と比べて、少なくなったという回答が46%でした。
- ・ごみの種類は飲料容器、たばこの吸い殻が60%を占めています。



- ・飲料容器については、ほとんどの人がコンビニ、自販機で購入しており、廃棄される場所は、道路、駐車場、公園、湖岸でした。



- ・クリーン条例の罰則規定を知っている人は14.7%にとどまっています。
 - ・ポイ捨てに対する活動へ参加したことがある人は、23.4%でした。
 - ・長期的推移は、下半期のアンケート実施後に掲載いたします。
- ※もし、ポイ捨てをしている人がいたら、注意してあげてください。この結果からすると、ほとんどの人が理解してくれるはずですよ。

平成23年4月以降の合意団体

- ・今津西小学校 (高島市)
国道303号 (高島市今津町保坂地先)
- ・株式会社 山協 (草津市)
県道大津守山近江八幡線 (草津市木川町地先)
- ・昭和電工株式会社彦根事業所 (彦根市)
県道神郷彦根線ほか周辺道路 (彦根市南川瀬地先)
- ・有限会社 フットワーク (草津市)
県道大津能登川長浜線 (草津市岡本町、青地町地先)
- ・有限会社 マツヤマ (東近江市)
県道五個荘八日市線 (東近江市妙法寺町地先)
- ・ヤンマー(株)永原工場 (長浜市)
八田部川、県道303号線 (長浜市西浅井町庄地先)

発行 滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
電話 077-528-3471 FAX 077-528-4845
eメール df00@pref.shiga.lg.jp